三重県多気郡明和町
斎宮跡埋蔵文化財調査報告27

史跡 斎宮跡

平成21年度現状変更緊急発掘調査報告

平成23(2011)年２月

明　和　町

序

町は、平成22年２月に、町の活性化を図るため、「史跡斎宮跡を核とした町の活性化基本方針」を作成いたしました。この基本方針に基づき平成22年度は、来訪者への利便性の改善策として、公衆トイレの水洗化や散策路などバリアフリー化を行いました。また、地域の人による「さいくう市」が５月16日からスタートし、月２回開かれています。さらに、年間を通じ、斎宮跡を訪れていただいた方々に花を楽しんでもらうための植栽活動も始まりました。基本方針の一部ですが、目標に向かって一歩踏み出した年であります。

また、県において計画されています史跡東部の実物大建物の復元などの整備について、史跡内６自治会への説明会や「史跡斎宮跡の整備を語るつどい」を開催し、事業内容や町の活性化基本方針などを知っていただきました。

町といたしましては、県の整備事業に間に合うよう、排水路の整備、集客交流施設などの事業化に向けて取り組むとともに、整備後の活用についてご意見をいただきながら、どのように町の活性化につなげていくかを地域の人々と共に進めていかなければならないと考えています。

一方、広大な史跡地内には約600世帯に及ぶ住民の方々が生活しています。このことから生活に結びつく史跡現状変更等許可申請が平成21年度は56件提出されました。本報告書は、その中で発掘調査が実施された３件の結果についてまとめたものです。発掘調査にご理解とご協力いただきました地元地権者の皆さま、また、発掘調査から報告書作成に至るまでご協力いただいた斎宮歴史博物館調査研究課の方々に対してここに厚くお礼申し上げます。

平成23（2011）年２月

三重県多気郡明和町

町長　中井幸充

例　　言

1　本書は、平成21（2009）年度に明和町が実施した史跡斎宮跡（三重県多気郡明和町斎宮・竹川地区）の現状変更緊急発掘調査の結果をまとめたものである。

2　本書に掲載した調査は、国庫および県費の補助金を受けて実施したものである。

3　調査は明和町が主体となり、斎宮歴史博物館調査研究課および明和町斎宮跡課が現地調査を担当した。

4　調査区名の表示方法（例：６ＡＬ１３）については、『史跡斎宮跡平成13年度発掘調査概報』（斎宮歴史博物館　2003）による。

5　遺構の平面図は、過年度との整合をはかるため、「測地成果2000」以前の旧国土座標第Ⅵ系に相当する座標系を用いて表示している。

6　遺構の時期区分については、『斎宮跡発掘調査報告Ⅰ』（2001）を基準とした。

7　遺構名冒頭の略記号は、遺構の形態から以下のように表記している。
　ＳＡ：柱列・塀　　ＳＢ：掘立柱建物　　ＳＤ：溝　　ＳＥ：井戸　　ＳＦ：道路
　ＳＫ：土坑　　ＳＨ：竪穴住居　　ＳＺ：落ち込み等　　ＳＸ：墓・不明遺構

8　図面・写真等の調査資料類および出土遺物は、斎宮歴史博物館で一括保管している。

9　本書の執筆は、新名強（斎宮歴史博物館調査研究課）、中野敦夫（明和町斎宮跡課）が分担し、編集は新名・中野が担当した。なお、文責は文末に示した。

目　　次

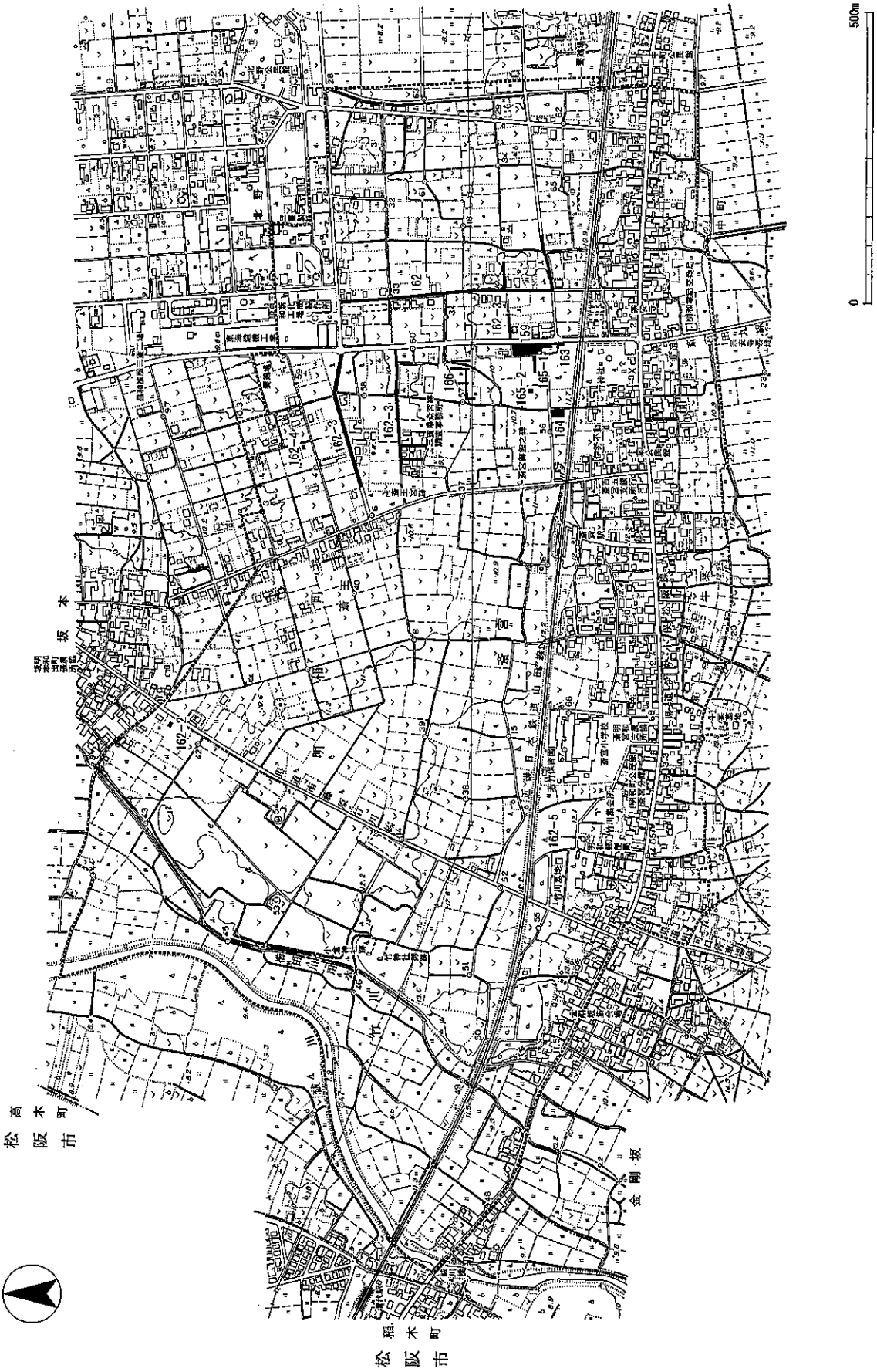
Ⅰ　前言 …… 1
Ⅱ　調査報告
　1　第162－２次調査 …… 2
　2　第162－４次調査 …… 3
　3　第162－５次調査 …… 4
付編　史跡現状変更等許可申請 …… 5

表・挿図目次

［表］1　史跡現状変更等許可申請の推移 …… 1
　　2　第162－２次調査　出土遺物観察表 …… 2
　　3　第162－４次調査　出土遺物観察表 …… 3
　　4　平成21年度史跡現状変更等許可申請一覧表 …… 6
［図］1　発掘調査地位置図（1：10,000）
　　2　第162－２次調査　調査区位置図（1：2,000）…… 2
　　3　第162－２次調査　遺構平面図（1：200）・断面図（1：100）…… 2
　　4　第162－２次調査　出土遺物実測図（1：4）…… 2
　　5　第162－４次調査　調査区位置図（1：2,000）…… 3
　　6　第162－４次調査　遺構平面図（1：200）・断面図（1：100）…… 3
　　7　第162－４次調査　出土遺物実測図（1：4）…… 3
　　8　第162－５次調査　調査区位置図（1：2,000）…… 4
　　9　第162－５次調査　遺構平面図（1：200）・断面図（1：100）…… 4

写真図版

写真図版１　上：第162－２次調査区全景（東から）　下：第162－２次調査区全景調査区全景（西から）
写真図版２　上：第162－４次調査区全景（南から）　下：第162－５次調査区全景（北から）



第１図　発掘調査地区位置図（1：10,000）

Ⅰ　前　言

史跡斎宮跡では、平成21年度に56件の現状変更等許可申請が提出された。史跡指定後、年間約40～50件程度で推移してきており、今年度も同様の傾向が窺える。

内訳をみると、史跡内住民による個人住宅の新築や改築および撤去、樹木の植栽や撤去、明和町による上下水道の整備などがある。このうち、発掘調査が必要となった案件は５件であった。

平成17年度以降継続して実施されている明和町の下水道事業は、町単費により第162－１・３次調査として745㎡の調査を行った。これは今年度実施した現状変更に伴う調査面積全体(790㎡)の94％にあたる。この下水道事業にかかる調査成果については、別途調査報告書の刊行を予定している。

第162－２・４次調査は個人住宅の新築・増築に伴う調査で、建物の基礎にあたる部分を中心に調査した。第162－５次調査は浄化槽設置に伴うもので、浄化槽設置部分の調査を行った。

平成21年度の史跡現状変更に伴う調査は、下水道事業に伴うものを除くと小規模なものであったが、遺構密度や遺構面の高さの確認など史跡保護に係る貴重なデータの蓄積がなされたことは、斎宮跡の実態解明にとって重要な成果であったと考えられる。　（新名　強）

年　度	現状変更申請数	発掘調査件数	調査面積（㎡）	うち補助金調査件数	同調査面積（㎡）
昭和54	33	17	3,968	12	996
55	60	12	1,281	10	815
56	53	12	5,416	10	696
57	50	8	657	7	577
58	52	16	3,757	10	1,440
59	30	15	2,884	12	1,589
60	39	8	1,260	5	1,014
61	54	12	1,845	9	1,507
62	57	16	2,854	13	1,620
63	46	17	8,820	7	1,131
平成元	57	16	7,091	9	1,061
2	58	8	1,397	5	914
3	46	3	1,550	1	1,190
4	41	6	895	5	825
5	48	8	1,670	6	1,090
6	35	6	1,360	4	1,032
7	39	2	587	1	480
8	47	6	709	4	613
9	39	6	832	2	452
10	28	4	882	2	396
11	37	8	816	3	186
12	42	10	512	8	469
13	38	14	439	5	409
14	39	22	760	4	304
15	44	19	1,558	8	1,124
16	45	24	2,372	7	762
17	31	14	3,002	8	338
18	31	12	1,021	8	323
19	50	12	374	11	270
20	41	6	237	5	150
21	56	5	790	3	45
計	1,364	344	61,596	204	23,818

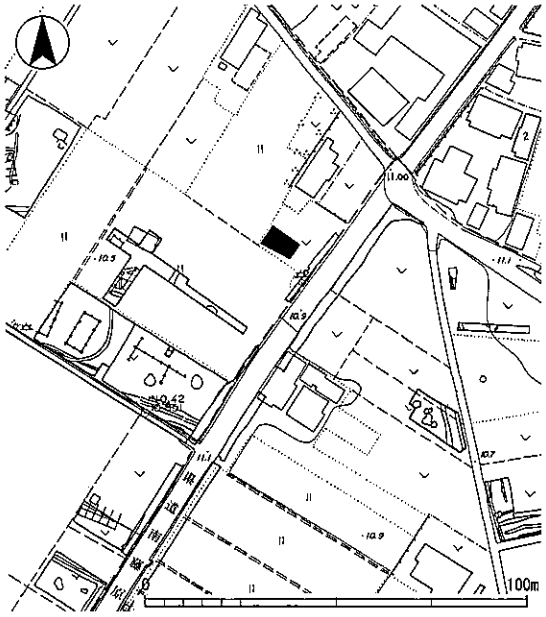
第１表　史跡現状変更等許可申請の推移

Ⅱ 調査報告

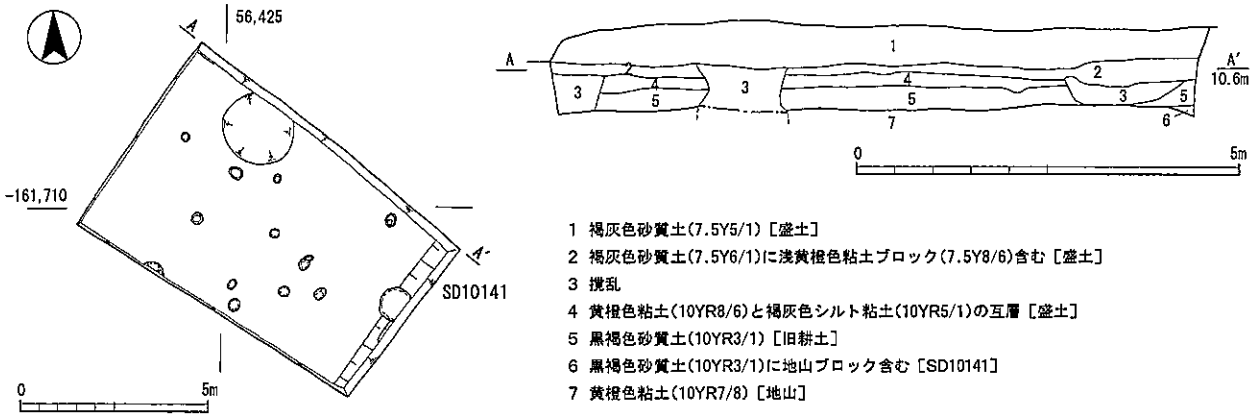
1 第162－２次調査（６ＡＬ５）

調査場所 三重県多気郡明和町竹川字古里592-9・10
原　　因 住宅建築
調査期間 平成21年６月８日 ～ 同年６月９日
調査面積 40㎡
調査概要

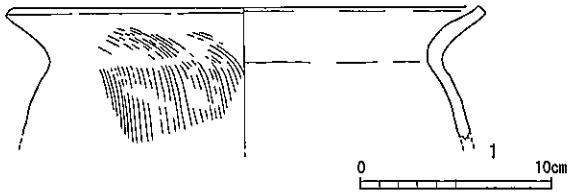
斎宮歴史博物館の北東約200mに位置する畑地で、個人住宅の新築に伴い発掘調査を実施した。調査地は0.8m程度の盛土がなされており、現地表面から1.2m掘り下げた標高約10.1m地点で、遺構検出面である地山面に達した。基本層序は、盛土・旧耕作土・黄色粘土（地山）であった。遺構は、平安時代の溝１条のほか時期不詳のピットを複数検出した。ＳＤ10141は調査区東端で確認した南北方向の溝と考えられる遺構で、土師器甕（１）などが出土しており、斎宮跡土器編年のⅡ-３～４期の遺構と考えられる。　（新名　強）



第２図　第162－２次調査　調査区位置図（1：2,000）



第３図　第162－２次調査　遺構平面図（1：200）・断面図（1：100）



第４図　第162－２次調査　出土遺物実測図（1：4）

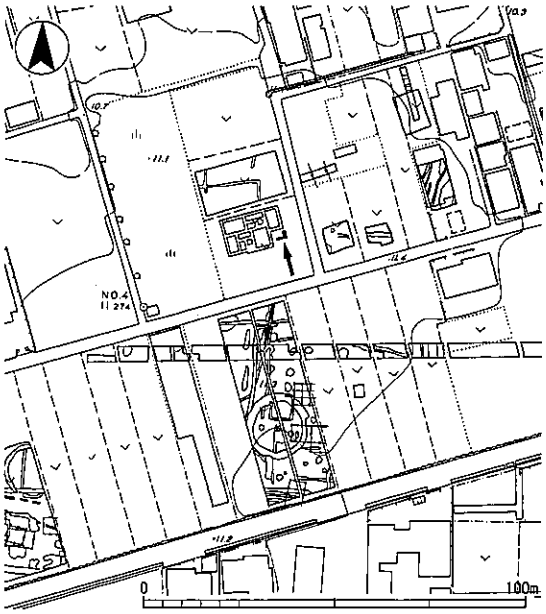
番号	器種	器形	地区・遺構	法量（cm）	調整・技法の特徴	胎土	焼成	色調	残存度	備考	登録番号
1	土師器	甕	SD10141	口径　24.4	口縁部：ヨコナデ 体部外面：ハケ	密	良	淡黄10YR5/2	口縁部2/12		001-01

第２表　第162－２次調査　出土遺物観察表

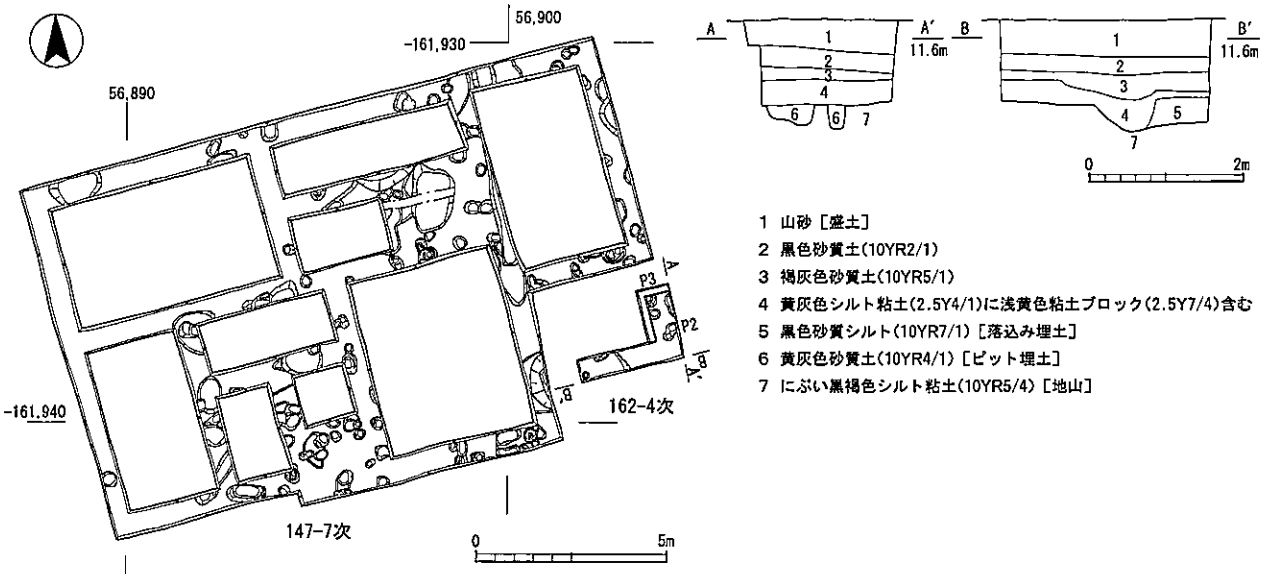
2　第162－４次調査（６ＡＱ７）

調査場所　三重県多気郡明和町斎宮字楽殿2890-5
原　　因　住宅増築
調査期間　平成21年８月３日　～　同年８月４日
調査面積　２㎡
調査概要

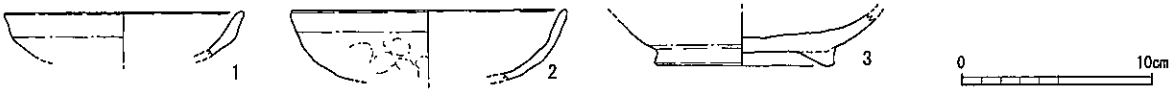
調査地は斎王の森の北東約200mに位置する宅地で、増築に伴い発掘調査を実施した。平成17年度には、住宅建設に伴う第147－７次調査が行われ、土坑や溝・ピットなどを確認している。現地は0.8m程の盛土がなされており、地表下1.1mの標高約10.7m地点で、遺構検出面である地山面を確認し、ピットおよび落込みを検出した。出土遺物は土師器杯（1）・椀（2）、山茶椀（3）があり、土師器は斎宮編年のⅡ-３期に、山茶椀は藤澤良祐氏の山茶椀編年(註1)の第４型式に属するものと考えられる。　（新名　強）



第５図　第162－４次調査　調査区位置図（1：2,000）



第６図　第162－４次調査　遺構平面図（1：200）・断面図（1：100）



第７図　第162－４次調査　出土遺物実測図（1：4）

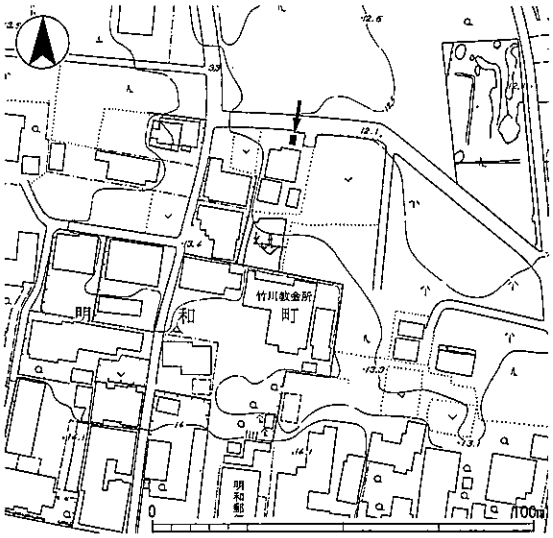
番号	器種	器形	地区・遺構	法量（cm）	調整・技法の特徴	胎土	焼成	色調	残存度	備考	登録番号
1	土師器	杯	Ｐ２	口径　12.2	口縁部：ヨコナデ 体部内外面：ナデ	密	良	橙7.5YR7/6	口縁部1/12		001-03
2	土師器	椀	Ｐ２	口径　14.2	口縁部：ヨコナデ 体部外面：オサエ・ナデ 体部内面：ナデ	密	良	浅黄橙10YR8/3	口縁部1/12		001-04
3	陶器 山茶椀	椀	Ｐ３	高台径　8.8	体部内外面：ロクロナデ 底部：貼付高台、糸切り痕	密	良	灰白2.5Y7/1	底部完存		001-02

第３表　第162－４次調査　出土遺物観察表

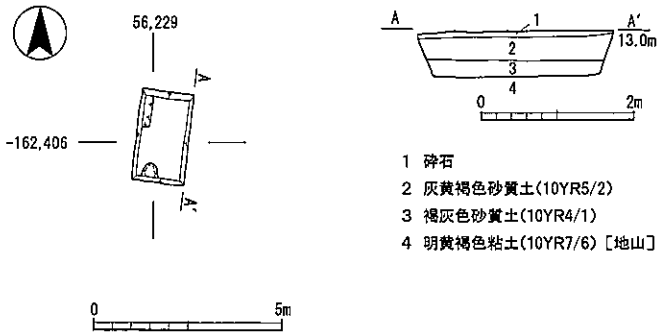
３　第162－５次調査（６ＡＪ12）

調査場所　三重県多気郡明和町竹川字東裏278-5
原　　因　合併浄化槽埋設
調査期間　平成21年９月15日
調査面積　３㎡
調査概要

調査地は斎宮小学校の西約200ｍに位置する宅地で、合併浄化槽設置に伴い調査を実施した。地山面は、地表下0.6m程の標高約12.4mで地山面に達したが、撹乱土坑を検出したのみで、遺構や遺物は確認出来なかった。　（新名　強）



第８図　第162－５次調査　調査区位置図（1：2,000）



第９図　第162－５次調査　遺構平面図（1：200）・断面図（1：100）

【註】

(1) 藤澤良祐「山茶碗研究の現状と課題」『研究紀要』第３号、三重県埋蔵文化財センター、1994

付編　史跡現状変更等許可申請

平成21年度に提出された史跡現状変更等許可申請は、56件である。発掘調査を行ったのは、前年度申請分も含め10件で、内訳は、史跡の実態解明のための計画発掘調査が５件、個人や公共事業の現状変更に伴うものが５件（うち前年申請分３件）である。

56件の申請の内45件は、宅地敷地内における個人住宅の建設など小規模であったり、工事が簡易で地下遺構に影響を及ぼさないものである。なお、基礎掘削工事にあたっては斎宮歴史博物館並びに明和町斎宮跡課職員の立会いのもとで実施している。

当該年度の申請の内容は、一覧表（第４表）のとおりであり、これらの申請を（A）個人等から申請されるもの、（B）公共機関等による地域の生活環境整備に伴うもの、（C）史跡環境整備および維持管理等に伴うもの、（D）発掘調査のための申請に分けることができる。

（A）個人等による申請

個人等による申請は、住宅等建設、解体に伴うもので23件あった。うち住宅増築、浄化槽設置など発掘調査が必要とされた２件（第162－４・５次調査）について調査を行い、３件は着工時期の関係で次年度調査とした。

他の18件については、個人住宅建築や撤去、工作物の設置等で土地利用区分の第四種保存地区にあたり、工事立会い等の条件付許可により、史跡に影響を及ぼすことなく施工している。

（B）公共機関等による地域の生活環境整備に伴う申請

この申請は12件の提出があった。その内容は、道路修繕等が２件、上下水道管の埋設関係が４件、小学校整備関係が1件、電気・電話関係が５件があり、工事立会いで着工している。

（C）史跡環境整備および維持管理等に伴う申請

この申請は８件あり、斎宮歴史博物館バリアフリー化やトイレなど施設の改修に伴うものや看板の設置、樹木の植栽などである。

（D）発掘調査のための申請

この申請は次年度調査（第167次調査）の申請を含め５件の提出があった。これは、三重県が主体となって斎宮歴史博物館が実施している計画発掘調査で、当該年度は、1,581㎡（第163次・第164次・第165次・第166次調査）が調査された。

これらの内容については斎宮歴史博物館から別途調査概報が刊行されている。

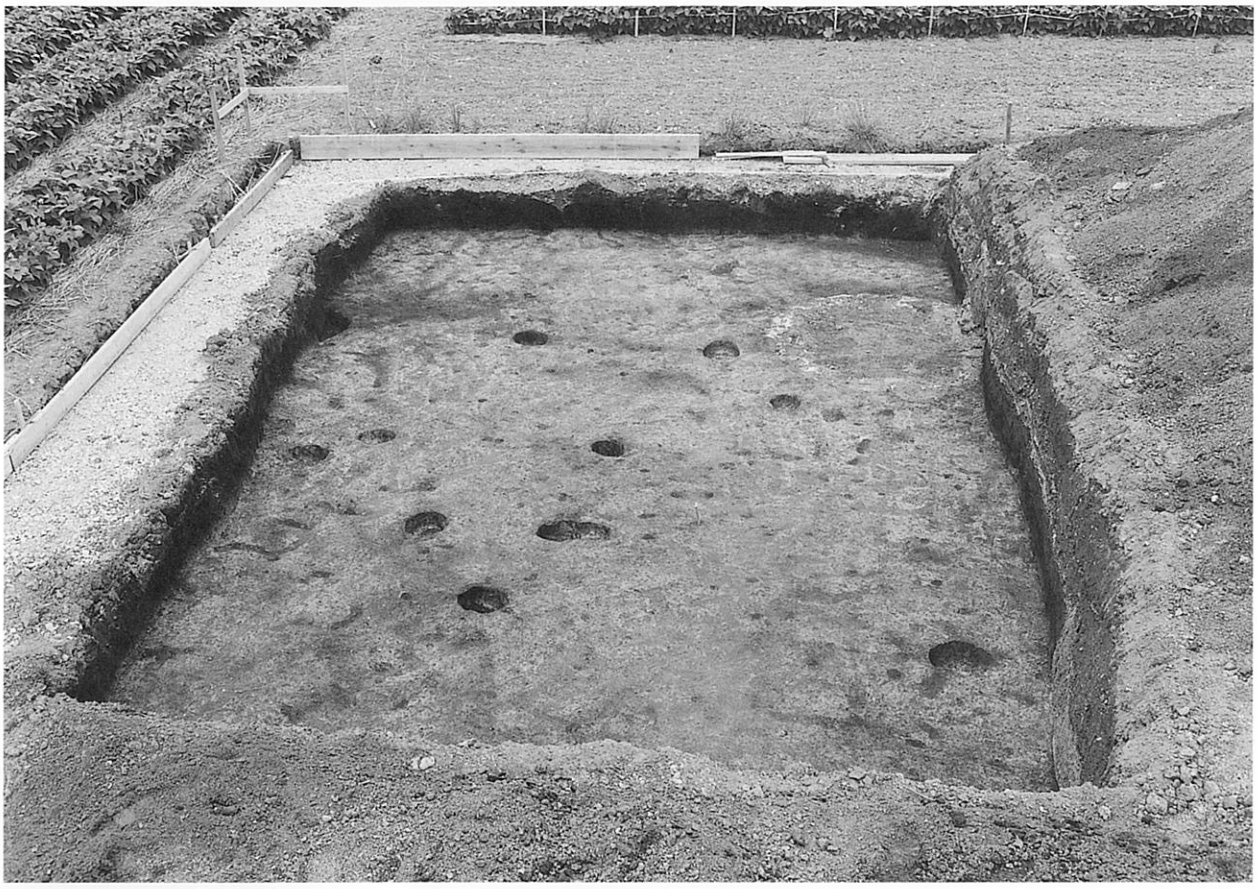
（中野敦夫）

	申請地	種別	申請者	変更内容	申請日	許可日	変更面積	区分	備　考
1	斎宮字西加座地内	B	明和町（上下水道課）	仮設事務所設置	H21.4.16	H21.5.15	1棟	1	
2	斎宮字西加座2771-3 2675-5	B	明和町（上下水道課）	下水管配管	H21.4.16	H21.5.15	L=40m	1	
3	竹川字東裏274	B	西日本電信電話（株） 三重支店	電話柱移設	H21.5.1	H21.5.22	1本	4	
4	斎宮字柳原2790 他5筆	D	三重県	発掘（計画）調査	H21.5.22	H21.6.19	95㎡	1	第165次調査
5	斎宮字御館2982-2 他4筆	D	三重県	発掘（計画）調査	H21.5.22	H21.6.19	400㎡	1	第164次調査
6	斎宮字西加座2649-4	A	個人	住宅建築	H21.5.28	H21.7.17	85.7㎡	4	
7	竹川字古里511	C	明和町（産業課）	看板設置	H21.6.19	H21.6.30	1基	3	
8	斎宮字篠林3224-2 3225-3	A	個人	住宅撤去	H21.6.22	H21.7.17	1棟	4	
9	斎宮字楽殿2890-5	A	個人	住宅増築	H21.6.24	H21.7.17	8.75㎡	3	第162―4次調査
10	斎宮字楽殿2918―4 鍛冶山2413	B	明和町（上下水道課）	仮設資材置き場設置	H21.6.25	H21.7.17	1,577㎡	1 4	
11	斎宮字柳原2779-14	D	三重県	発掘（計画）調査	H21.6.26	H21.7.17	40㎡	1	第163次調査
12	竹川字東裏273 他11筆	B	西日本電信電話（株） 三重支店	電話柱移設	H21.6.29	H21.7.6	12本	3	
13	竹川字東裏278-5	A	個人	合併浄化槽埋設	H21.7.6	H21.8.14	1基	4	第162―5次調査
14	斎宮字牛葉地内	B	明和町（建設課）	道路及び側溝改修	H21.7.10	H21.8.14	L=92m	3 4	
15	斎宮字東前沖2485-1	A	個人	住宅解体	H21.7.17	H21.9.2	2棟	4	
16	斎宮字牛葉3034-3	A	個人	土間コンクリート打設及び砂利敷き	H21.7.17	H21.9.2	62.5㎡	4	
17	竹川字古里592-6	A	池田建設（株）	土間コンクリート打設	H21.7.30	H21.9.25	73㎡	4	
18	斎宮字西加座2663-2	A	個人	住宅新築	H21.8.4	H21.9.25	122.37㎡	4	
19	斎宮字笛川2397、2397-1	A	個人	庭改修	H21.8.6	H21.9.25	280㎡	4	
20	斎宮字鍛冶山2369-2	A	個人	ブロック塀の改修	H21.8.20	H21.8.24	L=19.5m	4	
21	斎宮字塚山3338-7 他1筆	A	個人	フェンス設置	H21.8.24	H21.8.31	L=7.5m	3	
22	斎宮字篠林3223-1 他2筆	A	個人	住宅新築	H21.8.27	H21.9.25	99.5㎡	3 4	
23	斎宮字牛葉2998-1 他1筆	B	西日本電信電話（株） 三重支店	電話柱移設および支柱の撤去	H21.9.10	H21.9.24	3本	4	
24	竹川字中垣内402-1	A	個人	電灯線引込用ポールの設置	H21.9.30	H21.10.9	1本	2	
25	斎宮字楽殿2914-1	C	明和町（斎宮跡課）	上水道引き込み管及び量水器・散水栓の撤去	H21.10.2	H21.10.9	1ヶ所	1	
26	竹川字中垣内地内	B	西日本電信電話（株） 三重支店	電話柱建替および支線の取り替え	H21.10.5	H21.10.9	5本	2	
27	竹川字東裏278-5	B	西日本電信電話（株） 三重支店	電話柱の新設	H21.10.14	H21.10.22	1本	4	
28	斎宮字牛葉332	A	個人	住宅増築	H21.10.20	H21.11.20	8.3㎡	4	
29	斎宮字篠林3219-3	A	個人	カーポート及びサイクルポートの設置	H21.10.21	H21.10.26	36㎡	3	
30	斎宮字鍛冶山2368-3	A	個人	住居撤去	H21.10.22	H21.11.20	2棟	4	
31	斎宮字柳原2804 他2筆	D	三重県	発掘（計画）調査	H21.10.27	H21.11.20	500㎡	1	第166次調査
32	竹川字東裏281-4	B	明和町教育委員会	鉄棒の改修	H21.10.28	H21.11.9	3基	4	
33	斎宮字篠林3176-5	A	個人	住宅撤去	H21.11.26	H22.1.15	1棟	4	
34	斎宮字御館2974-1	A	個人	住宅撤去	H21.11.27	H22.1.15	1棟	4	
35	竹川字東裏347-1 他2筆	A	個人	納戸撤去及びフェンス取替	H21.12.3	H22.2.19	6.19㎡	4	
36	斎宮字牛葉3009-3	A	個人	物置の撤去	H21.12.3	H21.12.14	1棟	4	
37	斎宮字牛葉3403-1 他1筆	A	多気郡農業協同組合	倉庫撤去	H21.12.3	H22.1.15	1棟	4	
38	斎宮字篠林3176-6	A	個人	フェンスの改修	H21.12.10	H21.12.14	L=12m	4	
39	斎宮地内	B	明和町（上下水道課）	下水道管埋設	H21.12.10	H22.1.15	L=1050m	4	
40	竹川字中垣内473-1	A	個人	住宅新築	H21.12.14	H22.1.15	98.4㎡	3	
41	竹川字古里559-28	C	斎宮跡観光協議会	植栽	H21.12.17	H22.1.15	5本	1	
42	竹川字古里503 他4筆	C	三重県	斎宮歴史博物館入口バリアフリー工事及び仮設プレハブ等の設置	H21.12.21	H21.12.24	1棟 19.8㎡	3	
43	竹川字古里559-34,-35	C	三重県	ふるさと広場内舞台改修工事	H21.12.22	H22.1.6	200㎡	1	
44	竹川字中垣内464-2	A	個人	倉庫新築	H21.12.25	H22.2.19	85㎡	3	
45	斎宮字牛葉577	A	個人	門扉の改修	H22.1.18	H22.1.25	1基	4	
46	斎宮字牛葉108	A	個人	門扉の新設	H22.1.28	H22.2.5	1基	4	
47	斎宮字西前沖2604-30	A	個人	住宅新築	H22.2.15	H22.3.19	54.0㎡	4	
48	竹川字古里579-1	A	個人	住宅新築	H22.2.16	H22.3.19	68.04㎡	3	第170―2次調査
49	斎宮字中西611	A	個人	ブロック塀設置	H22.3.5	H22.3.15	L=12.5m	4	
50	斎宮字柳原2779、2779-1	A	個人	樹木撤去及び抜根	H22.3.10	H22.4.16	20本	1	第170―1次調査
51	斎宮字柳原2669 他5筆	D	三重県	発掘（計画）調査	H22.3.12	H22.4.16	500㎡	1	第167次調査
52	竹川字古里566、547-2	C	明和町（斎宮跡課）	合併浄化槽及び接続管埋設	H22.3.23	H22.4.16	1基	3	
53	斎宮字牛葉3014	C	明和町（斎宮跡課）	標柱の移設	H22.3.23	H22.3.29	1基	4	
54	斎宮字楽殿2831-2	B	池田建設（株）	カーブミラー設置	H22.3.23	H22.3.29	1基	3	
55	斎宮字御館2938-1 他3筆	C	明和町（斎宮跡課）	広場舗装	H22.3.26	H22.4.16	908.75㎡	1	
56	斎宮字鈴池561-1	A	個人	住宅新築	H22.3.30	H22.5.21	142.43㎡	3	第170―4次調査

第４表　平成21年度史跡現状変更等許可申請一覧表

写 真 図 版

写真図版１



第162－２次調査区全景（東から）

第162－２次調査区全景（西から）

第162－４次調査区全景（南から）

第162－５次調査区全景（北から）

報 告 書 抄 録

ふりがな	しせきさいくうあと　へいせいにじゅういちねんどげんじょうへんこうきんきゅうはっくつちょうさほうこく
書名	史跡斎宮跡　平成21年度現状変更緊急発掘調査報告書
副書名	
巻次	
シリーズ名	三重県多気郡明和町斎宮跡埋蔵文化財調査報告
シリーズ番号	２７
編著者名	新名　強　中野敦夫
編集機関	斎宮歴史博物館（調査研究課）　明和町（斎宮跡課）
所在地	〒515-0332　三重県多気郡明和町大字馬之上945番地　TEL　0596（52）7126
発行年月日	西暦　2011年２月28日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯 °′″	東経 °′″	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
		市町村	遺跡番号					
さいくうあと 斎宮跡	たきぐんめいわちょう 多気郡明和町 さいくう・たけがわ 斎宮・竹川	24442	210	34° 31′ 55″ ～ 34° 32′ 30″	136° 36′ 16″ ～ 136° 37′ 37″	20090401 ～ 20100331	全３件 45㎡	史跡現状変更に伴う緊急発掘調査（史跡斎宮跡第162次調査）

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
斎宮跡第162次	官衙	奈良 平安 鎌倉 室町以降	溝、ピット、 落ち込み	土師器　山茶椀	

要約	第162－２次調査では平安時代の溝１条を、第162－４次調査では平安時代および鎌倉時代のピットを確認した。今年度の調査は、下水道事業に関わるものを除き、いずれも小規模な調査であったが、周辺での調査事例が乏しい部分での調査であり、貴重なデータを得ることができた。

史跡　斎宮跡

平成21年度

現状変更緊急発掘調査報告

平成23(2011)年2月28日

編　集　斎宮歴史博物館
明和町

発　行　明和町

印　刷　光出版印刷株式会社